

2014年3月31日

会社名 株式会社 商船三井
コード番号 9104

新中期経営計画「STEER FOR 2020」を策定

商船三井グループは、2013年度において成長軌道へ復帰する基盤を固めるべく、黒字化を必達目標として単年度経営計画「RISE 2013」を遂行してまいりました。

今般、その目途が立ちましたので、2020年の当社グループの姿を描き、そこへ向かう針路を定める2014年度から3カ年の中期経営計画「STEER FOR 2020」を策定しました。

“STEER”とは、目指す針路に向かって船の舵を取ることを意味します。2020年3月期に向けて商船三井グループは大きく舵を切っていく、確かな成長を実現するとの思いを込めて名付けました。新中期経営計画の概要を以下のとおりお知らせします。

名 称 : **STEER FOR 2020**

メインテーマ : **変革を通じた確かな成長**

《利益計画》

	2013年度 (見通し)	2016年度 (計画)	2019年度 (目標)
売上高 (億円)	17,000	19,000	21,000
経常利益 (億円)	550	1,000	1,400
当期純利益 (億円)	570	800	1,100

- 添付：商船三井グループ 中期経営計画全体図 「STEER FOR 2020」
- 「STEER FOR 2020」の詳細につきましては、当社ホームページに掲載しております。 <http://www.mol.co.jp/ir-j/>

* 上記計画・目標には、本資料発表日現在の将来に対する予測が含まれております。世界経済・為替変動等に係わる潜在リスクや不確定要因により実際の業績が記載の計画数値・目標値と異なる可能性があることをご承知おき下さい。

本件に関するお問い合わせは以下にお願いします。
経営企画部 企画グループリーダー 辻井廣喜
Tel:03-3587-6249 E-Mail : plamo@molgroup.com

STEER FOR 2020

長期ビジョン

世界の海運をリードする強くしなやかな
商船三井グループを目指す

メインテーマ: **変革を通じた確かな成長**

商船三井グループ企業理念

1. 顧客のニーズと時代の要請を先取りする総合輸送グループとして世界経済の発展に貢献します
2. 社会規範と企業理念に則った、透明性の高い経営を行ない、知的創造と効率性を徹底的に追求し企業価値を高めることを目指します
3. 安全運航を徹底し、海洋・地球環境の保全に努めます

全体戦略

① 事業ポートフォリオの変革

- 海運および関連事業領域で成長が見込まれ、長期安定利益を獲得できるビジネスに経営資源を早く厚く投入する。

② 事業モデルの変革

- 当社の特色を活かし、顧客ニーズに応え付加価値を提供するビジネスに注力する。
- 市況耐性の高い、コスト構造の柔軟な船隊構成への転換を図り、競争力を高めつつ損益下振れリスクを抑制する。

③ 事業領域の変革

- 海上輸送の垂直方向への事業領域拡大によりバリューチェーンを創造する。

計画実行を支える経営基盤の強化

- ⚓ **コンプライアンスの再強化**
- ⚓ **安全運航体制の再構築**
- ⚓ **トータルリスクコントロールの強化**
- ⚓ **ビジネスインテリジェンスの結集**

利益計画および連結財務指標

	2013年度 (見通し)	2016年度 (計画)	2019年度 (目標)
売上高 [億円]	17,000	19,000	21,000
経常利益 [億円]	550	1,000	1,400
内 安定利益 [億円]	500	550	750
当期純利益 [億円]	570	800	1,100
ROA (経常利益÷総資産)	2.4%	4～5%	
ROE (当期純利益÷自己資本)	9.5%	10%以上	
自己資本比率	29%	(2019年度近傍で) 35～40%	
ネット・ギアリング・レシオ	141%	(2019年度近傍で) 100%	

設備投資額

(単位: 億円)

設備投資額 (竣工ベース) (2014-2019年度計)		内 LNG 船・ 海洋事業
安定利益寄与	10,000	(7,000)
コスト競争力強化	1,300	—
合計	11,300	(7,000)

運航規模

(単位: 隻)

2013年度末 (見込)	2016年度末 (計画)	2019年度末 (目標)
900	880	930

ドライバルク・タンカー事業における市況エクスポージャー

2013年度末 (見込)	2016年度末 (計画)	2019年度末 (目標)
55%	45%	35%